

Future Earth アジア地域センターに関する動向  
(フューチャー・アース国内連携分科会資料)

2018.5.17

1. **Regions 代表者が Future Earth Secretariat Executive Team に正式参加**

2018年4月26—28日、Montevideoにて開催されたGoverning Councilにおいて、今後Regionsの代表者をSecretariat Executive Teamの正式メンバーとすることが承認された。

2. **第6回 Future Earth in Asia 国際シンポジウム「アジアの持続可能な消費を考える」開催**  
(2018.1.15-16、於：京都大学・総合地球環境学研究所)

異なる発展段階の社会に適用しうる「持続可能な消費」の枠組みを探求するとともに、アジアの視点を反映した、Future Earth 「持続可能な消費と生産のシステムに関する知と実践のためのネットワーク」(SSCP KAN)の開発、また同KANのアジア地域における人的ネットワークの拡大を図った。

3. **第4回 Future Earth アジア地域顧問委員会開催** (2018.1.17 於：総合地球環境学研究所)

各委員より、各国におけるFuture Earth関連動向が報告された。また、アジアに焦点をおくGRP、Monsoon Asia Integrated Research on Sustainability (MAIRS-FE)およびSustainable Initiative in the Marginal Seas of South and East Asia (SIMSEA)の研究活動が発表された。今後、顧問委員会を基盤にFuture Earthアジア委員会を設置することが同意された。

4. **Future Earth 南アジア地域オフィス恒常化に向けた取り組み**

現在インド理科大学院 Divecha 気候変動センターに暫定的に設置されている、Future Earth南アジアオフィスの恒常化に向け、同オフィスSteering Committeeを設立準備中である。この設立をもって、南アジア地域オフィスの恒常化を図る。

5. **アジア域内における国内委員会の開設状況**

現在、下記の国・地域において国内委員会が活動している。

中国、台北、韓国、インド、オーストラリア（新代表：Tayanah O'Donnell氏）、日本  
また、モンゴル、フィリピン、ニュージーランドなどで開設が計画されている。

6. **Future Earth アジア地域センター Science Officer の国際公募** (予定)

# アジアの持続可能な消費を考える Sustainable Consumption in Asia

アジアの低・中所得諸国において、生態系への影響を抑えつつ、公平で安定した幸福な社会を築くにはどうすればよいか、「持続可能な消費」の観点から議論します。This symposium explores how sustainable consumption can contribute to enhanced, equitable and resilient well-being in low- and middle- income countries in Asia without this development leading to massive ecological overshoot.

Keynote  
1

## 新・持続可能な消費：

アジアの社会イノベーションとウェルビーイング

### Sustainable Consumption 2.0:

Fostering Social Innovation and Enhancing Well-being in Asia

モーリー・コーヘン Maurie Cohen

ニュージャージー工科大学 教授/Professor, New Jersey Institute of Technology

Keynote  
2

## インドの消費行動 -

急増するインド中産階層の消費パターンと持続可能性

**A Commentary on Consumption - How Unsustainable Is the Consumption Pattern of the Burgeoning Middle Class in India?**

チャンドラ・ビュシャン Chandra Bhushan

センターフォーサイエンスアンドエンバイロメント 副代表, インド  
Deputy Director General, Centre for Science and Environment, India

Session  
1

## リープフロッグ型発展の可能性と課題

Leapfrogging Development - Its Challenges and Opportunities

Session  
2

## 日本の「持続可能な消費」に向けた取組

Approaches and Experiences from Japan

2018.1.15 Mon  
10:00 - 17:30

京都大学百周年記念館  
国際交流ホールI  
Clock Tower Centennial Hall I  
Kyoto University

参加無料・申込要  
Admission free  
Booking required

日英同時通訳あり  
English/Japanese  
simultaneous translation

主催：総合地球環境学研究所・Future Earth アジア地域センター  
共催：京都大学 Future Earth 研究推進ユニット  
Organizer: Regional Centre for Future Earth in Asia/  
Research Institute for Humanity and Nature  
Co-organizer: Future Earth Research Unit, Kyoto University



futureearth  
research for global sustainability